

<<豆腐小僧双六道中ふりだし>>

图书基本信息

书名：<<豆腐小僧双六道中ふりだし>>

13位ISBN编号：9784062122146

10位ISBN编号：4062122146

出版时间：2003

出版时间：講談社

作者：京極夏彦

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

<<豆腐小僧双六道中ふりだし>>

内容概要

江戸時代に出版された黄表紙などで人気を博したという妖怪「豆腐小僧」が、自らの存在理由を求めて旅をする。

豆腐を載せた盆を手に、ただ立ちつくすだけの妖怪である自分は、豆腐を手放すと、ただの小僧になるのか、それとも消えてしまうのか。

男女の色恋に赤面し、自分以外の妖怪におののいてしまう軟弱さにもかかわらず、胸に去来するのは「消えたくない」という強い思い。

お盆の豆腐を落とさないように気遣いながら、豆腐小僧の珍道中がはじまる。

著者は、『嗤う伊右衛門』や『覗き小平次』など、怪談話を斬新な解釈で現代に蘇らせる一方、『どすこい(安)』などのパロディー小説も手がけてきた京極夏彦。

本書では、史実のうえでも来歴のはっきりとしない妖怪の自分探しをテーマに、自由な発想と膨大な知識を駆使しながら、幕末を舞台とした冒険物語へと仕立てあげている。

講談調のひょうひょうとした語り口と、豆腐小僧のとぼけた味わいが、おかしみを誘わずにはいられない痛快作だ。

特徴的なのは、豆腐小僧が自我に目覚めていく過程を軸にして、妖怪とは何かを順序だてて解説している点である。

地震を説明するための妖怪「鳴屋(やなり)」や、死を悟った人間のけじめとして現れる「死神」

。そのほか、狸や狐など、その由来や役割が、コミカルな物語に託して論じられる。

しかし、そこから垣間見えるのは、人間が感得しなければ、消えてしまう運命を背負った妖怪たちの悲哀だ。

本書には、近代化とともに失われていった日本人の心とは何かという深遠なテーマも映し出されているのである。

(中島正敏)

出版社/著者からの内容紹介

これぞ妖怪。

私は誰、此処は何処。

小僧は彷徨(さまよ)う。

小僧は進む。

妖怪豆腐小僧がアイデンティティーを捜す！

？

「なぜ、手前は豆腐を持っているんでしょうか？

」自己の存在理由、存在意義にうすく不安を抱く小さな妖怪が数々の異種妖怪に出会い、「世間」を知る立志篇！

<<豆腐小僧双六道中ふりだし>>

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>